

## 育メン紹介

「わが子だから何でもやります。」

高橋 大輔さん  
(季生くんの父)



イクメン!?ん~どうでしょう。でも思っていた以上に子供と過ごす時は楽しいかも…。わが家で例えると妻が介護職(交替制)なので週末は勿論、夜勤もあったりで父と子で過ごすのが普通。食事・風呂入れ・寝かしつけも「わが子」と思えば何でも出来る。ただ、虫はNGだしHappyセットの行列に並ぶのも勘弁だ。それだけは許してくれ。そういえばゆり組最年少の季生が最近をよく食べるようになった。お子様セットでは足りないくらい。洋服も自分でオシャレな物を選んだり(なのに寝巻きのベストはピンクのウサギちゃん柄が気に入る!)周りの支えも受けて成長したんだね。春から早いもので小学生。体よりデカイランドセルを季生が背負えるかパパはハラハラしてます。大丈夫だよ?季生の名の由来は「四季をすこやかに生きる人」だから。

## 「ありがとう」

玉虫 竜哉さん  
(優麗香ちゃんの父)



気がつけば優麗香も4月から小学生。この間迄ヨチヨチ歩きだったのが懐かしい今日この頃です。上に中学1年生、小学5年生の姉がいて、その影響かとてもたくましく育っています。家の中では掃除や料理の手伝い等いろいろな事にチャレンジして、とても助かっています。一緒に出来る事が増える楽しさ、喜びを優麗香が教えてくれていると実感しています。何気ない日常こそ子供が親を育てている、親にさせてくれているんだと思います。保育園の先生方、友達と過ごした時間は大切な宝物なので、これからいろいろな人と出会いもっと宝物を増やして欲しいと思います。姉の2人、優麗香ともども保育園でお世話になり、成長させて頂きありがとうございました。

## 「心の拠りどころ」

主事  
今成 健二



今年度より北部保育園に異動になり事務を担当しております。

元気いっぱいな子どもたちの姿や日々成長していく姿を見て、沢山の元気と気付き・学びを得ます。

人は誰もが「自分の身が守られ、安心でき、快く受け入れられている」と感じられる居場所を必要としています。

そして十分に愛されて育つことにより自分が好きになり、自信が持てるようになり、その確信から思いやりのある優しい心を持つようになります。

ひとりひとりの子どもを温かい眼差し、言葉、心を持って接し、北部保育園が心の拠りどころになるよう支えていきたいと思っております。

## 編集後記

今年は【寅年】です。芽を出したものが成長する、これから成長する物事の始まる年と言われています。保育園で元気いっぱいあそぶ子どもたちのいろいろな可能性が芽吹いてくるのだろうと思うととてもワクワクした気持ちになります。子どもたちのこれからの成長がとても楽しみです。記 鈴木

## コロナ禍の中のオンライン

### 【手洗い】

・なんで手洗いをするのだろう…?それは、目に見えないばい菌を洗い流すことで、自分の身体を病気から守ってくれるため、ということを学びました。年長組の子どもたちはとても真剣に聞き、さっそく「手洗い先生」になって正しい手洗いの仕方を小さいお友だちに伝えてくれました。コロナにも病気にも負けない丈夫な身体で過ごせるように、意識して手を洗っている子どもたちです。



### 【おじいちゃんおばあちゃんとの交流会】

・保育園の近くにある湖山ケアデイサービスのおじいちゃんおばあちゃんと交流をしました。夏祭りの時にはっぴを着て踊った「ソイヤ」をスクリーン越しに見てもらったり、質問をしたりして楽しい時間を過ごしました。オンラインという新しい方法で交流ができ、いい経験ができました。でも来年は直接触れ合って交流できることを願っています。



## 令和3年度 オンライン研修・セミナー受講

今年度は新型コロナ感染予防のため職員研修は全てオンラインで受講し、より良い保育のために学ばせて頂きました。

- ・保育所等における感染症対策セミナーの効果検証に関するセミナー 1名
- ・集団における感染対策研修会 1名
- ・保育プラザ研修発達と保育(0・1・2・4・5歳児) 各1名ずつ
- ・より良い保育のための職員集団づくり 2名
- ・山形県保育協議会主催 公開保育研修会 1名
- ・保育の質の確保・向上セミナー 8名
- ・発達障がい児の理解と支援 1名
- ・置賜特別支援教育コーディネーター養成研修会 1名
- ・発達障がい児の将来を見据えた支援とは 1名
- ・育てにくい子どもの保護者支援とは 子どもの姿を伝える保育記録 1名

# ゆめポケット

社会福祉法人 米沢仏教興道会  
興道北部保育園



第26号  
2022.3.10

米沢市塩井町塩野1476-1  
TEL (0238) 21-5070 FAX (0238) 21-5128  
HP <http://hokubu.yb-koudou.jp>  
E-mail [koudou-hokubu@yb-koudou.jp](mailto:koudou-hokubu@yb-koudou.jp)



「オオバナノエンレイソウ」という花をこ  
存じでしょうか?この花は、花が咲くまで十  
年から十五年の月日を要し、忘れた頃に凛と  
した「かわいらしい」花を咲かせます。自ら  
伸びようとする生命力と、太陽や雨、土など  
の自然の力、そして目をかけてくれる人々の  
心を得ながら、互いに支え合い、一日一日、  
少しずつ、そしていつのまにか生長してい  
ます。時に、私は、その姿に子どもの成長、  
そして子育てを重ねることがあります。  
子どもは誰もが「大きくなりたい」と願  
い、自ら育つ力を持っています。子育ては、そ  
んな子どもの「大きくなるため」の様々な思  
いに寄り添い向き合うことだと思えます。そ  
中で、なかなか思うようにならず、結果が出  
ず、悩み、立ち止まることもしばしばです。  
それでも、子どもの成長を待ち望み前に進  
もうとします。その繰り返しの中で、子どもは  
「いつのまにか」大きくなります。  
いつか、その子らしい花を咲かせてくれる  
ことを思い浮かべながら、焦らず、急がず、  
がんばり過ぎず、様々な人と支え合いながら、  
何気ない一瞬一瞬を積み重ねていけたら…  
と思います。  
保育園という場所も、支え合うお手伝いを  
させていただけると嬉しいと思ってい  
ます。  
「あつ、めんめ(虫)」と立ち止まり、「あつ、  
おはな(花)」としやがみ込む、そんな風な  
ちよつとした「しあわせ」を見つけたら、  
ゆつくりと大きくなる子どもたちと、一緒  
に歩みながら…

オオバナノエンレイソウ  
興道北部保育園園長  
板垣 雅子





## そこに虫があったから

手足に力を入れて踏ん張って！  
全身のバランスを取りながら  
のぼる、おりる、すべる。  
でこぼこや坂が、実はとってもたのしい！！  
友だちと一緒にならもっと楽しい。



いっしょにいこう！



ちょうじょう  
めざすぞ！！



よいしょ…  
よいしょ…



## 全集中!! スラックライン

園庭のどんぐり林の中のスラックラインには毎日チャレンジャーがたくさん！！  
「難しい」が「おもしろい」に変わります。  
全集中して自分のイメージ通りに動けると「やったー！」の達成感がうまれます。



“そ〜っと そ〜っと...”

まてまて〜



1回転できた〜

## 子どもが自ら育つ力 ～さいたさいた みんなの笑顔～

子どもの目線の先には、いろいろなものがいっぱい！  
子どもにとっては“なんだろう”から、触ってみたい、登ってみたい、匂い  
そして、友だちとおなじ、友だちと一緒に、友だちに聞く・伝えるなど、人  
子どもは研究者であり、チャレンジャーです。子どもは自ら育つ力をみんな

は？感触は？音は？五感で感じてそこから、考える、挑戦するが始まります。  
との関わりも広がります。  
もっています。そしてたくさんの笑顔が咲きます。

## 散歩 ふしぎ発見！

みてみてー  
なにかはいつて  
いるかなー？！



“田んぼをあるいていくと...”

さかながいっぱい。



電信柱にあったものは？



黄色い、種が入ったものだった

きからすうり！



「わあ」「あ〜」  
声が響くよ

アブラハヤ



## 砂の誘惑

砂は魅力がいっぱい。  
形を変えます。感触も変わります。どうなるか毎日  
違います。あそびのアイデアが無限に広がります。  
創造力がふくらみます。



さわってごらん

年長児が0歳児に  
教えます。  
「すな」の言葉と  
感触を。



きもちいー！



何してるの〜？



“おにいちゃんたちのまねっこ”



“すな、ひとつまみ”



“ぬらすとドロドロ〜”



“角度を変えて、  
砂のスピード実験中...”